



今月の目標：いつもニコニコ、陽の気を感じながら頑張ります！

ご挨拶

春の選抜甲子園予選がスタート

春の甲子園につながる奈良県秋季大会が現在開催されています。

長身の通っている高田商業高校は順当に勝ち上がり、10月1日現在ベスト4に入る事が出来ました。

あと1つ勝てば近畿大会に駒を進める事が出来ます。

ただ気は早いですが、その近畿大会でベスト4に入れば、春の選抜に選ばれ甲子園に出場出来る可能性が出てきます。

3年生が引退しても、2年生で80名の部員を有する野球部です。背番号もまだ覚えていませんが、連日夜9時から練習をし、ドロボロに帰ってくる息子を見ていると、チームとして是非甲子園出場という目標がある、と聞ければとばかり思います。

春の選抜甲子園目指し
がんばれ息子よ！



今月のちょっといい話

楽しさ貯金

タレントの関根麻里さんは、父親である関根勤さんについて、次のように語っています。

「父は幼少期の私に、大人になってもいつもポジティブでいられるようにと『生きるとは面白いことだ』と徹底的に叩き込んだんです」

また、勤さんは「楽しさ貯金」という哲学を持っていて、「大人になってつらい状況に直面しても、子どものころに楽しい思い出をたくさんストックしておけば、乗り越えられる」と考えていたそうです。

そのため、勤さんはいつも面白いことを言って家族を笑わせ、楽しい思い出をたくさんつくりました。

そのおかげで、麻里さんは人生に前向きで、立ち直りも早く、嫌なこともすぐに忘れる性格になったと語ります。

考え方や価値観は、身近にいる人の影響を強く受けるものです。それが両親であれば、なおさらのことでしょう。自らの生きる姿勢は、自分だけでなく、大事な人たちに影響を与えることを忘れてはいけません。できれば、明るく前向きな姿を見せていきたいものです。



あなたの背中を見て育つ人がいます

『月刊朝礼』2022年10月2日の記事より(コミケ出版発行)

モリモト目線

私が家族(特に子供の前)に対して昔から守っていることが一つあります。それは、仕事から家に帰って「あー疲れた」という、マイナスな発言はしないとことです。



どんなに疲れていても、嫌なことがあった日でも、できる限り笑顔で「楽しかった」と言うようにしています。

なぜかという、子供たちに仕事は辛いもの大変なものというイメージを与えますと、将来に夢が持てなくなってしまうと思うからです。

私はこのことを、亡くなった妻の父から教わりました。

いつか、この教えを我が子にも引き継いでいきたいと思います。

プロフィール

【名前】 森本 尚亮 <small>(モリモト タカアキ)</small> <small>ニックネームは</small> 「タカちゃん」	【個人情報】 1982年8月2日生まれ 成年 獅子座 O型	【好きなお笑い芸人】 ティモンディ 高岸	【好きな歌手】 GReeeeN	 
【出身】 奈良県生まれ 奈良県育ち	【家族構成】 妻、長男(高1)、次男(中2)、三男(小6) <small>(息子3人ともが野球に熱中しています)</small>	【最近の困りごと】 そろそろ長男に腕相撲で負けそう		